

子ども会KYTの進め方

【KYTとは】

- K Kiken (キケン)、
- Y Yochi (ヨチ)、
- T Training (トレーニング) 」

ーKYTの進め方(例)ー

- ・グループは6人くらいが最適
- ・メモ紙(A4)と模造紙とマジック(黒、赤)2本を配布する。
- ・リーダーと記録係を決める。
 - リーダーはみんなに意見を言ってもらう。誘い水を出す。
 - 記録係はとにかく書く。
- ・グループ名を決める。(1分)

●さあ、皆さんのお手元に〇〇〇が配られています。（グループで1枚）

【第1ステップ】5分～10分

ー危険箇所の洗い出し

みなさんで危険な箇所を探してください。

そして主語と述語、イラストの危険箇所に○印と番号をつける。

1. ～なので、～になる
2. ～なので～して～になる
3. ～したとき ～して ～になる

※具体的に書く（「・・・危険だ」「・・・危ない」はダメ！）

危険 = 危険要員 + 現象 の組み合わせで表現します。

（状態と行動）（事故の型）

※自分の想像でよい。

例）バナナの皮があるので足で踏んで転んで頭から血がでる。

※他人の批判はしない（ブレインストーミング）

【第2ステップ】5分

ここが危険のポイントだ

重大事故の絞り込み

・見つけた危険箇所の中で、特に注意を要する箇所に◎印をつける

・各グループにそれぞれ発表してもらおうが、その際、次の要領で行う。

（リーダー）「危険なポイント」

（メンバー）「〇〇なので、××になる」

と全員が起立して、指差唱和。 ※声をしっかりと出させる。

【第3ステップ】 5分～10分

対策の立案

先ほどの◎印に対して対策を考える

・具体的な対策を2～3個書き出す

1. △△なので、□□になる

①

②

例9 バナナの皮は持ち帰る

【第4ステップ】（行動目標の策定） 10分

●グループとして絶対しなければならないことに赤マジックで◎印

（最重点項目を一つか二つにしぼってもらう）

⇒ これをまとめてスローガンとする。（自分たちの行動目標とする）

～の時は、～を～して～しよう

例) バナナを食べる時は、皮をゴミ箱に捨てよう

●最後に、グループ発表、

（リーダー）「私たちのスローガン」

（メンバー）「○○を△△して、××しよう！ よしっ！」

〔スローガン例〕

- ・帽子、長袖、長ズボン、注意するのは火に刃物、軍手をはめて安全炊事
- ・やけど、切り傷防ぐのは、軍手、長袖、長ズボン
- ・覚えよう正しい道具の使い方、片付けよう使った道具は元の位置

※ただし、スローガンのできが重要ではなく、みんなで考えることが重要

●記録係が模造紙に清書をする。

その間、小さい子供は、イラストに絵を付けてもよい。

●最後にグループ全員が前に出て発表。